

公共事業新規実施予定箇所

事業名	路線名	市町名	字名等	事業概要	事業費(千円)
道路交通安全施設整備事業費補助 (交通安全対策(通学路緊急対策))	(国)135号	伊東市	竹の内	歩行空間整備工 L=0.45km	130,000

各事業箇所の概要等は別紙3のとおり

事業名：道路交通安全施設等整備事業費補助（交通安全対策（通学路緊急対策））

路線名：一般国道135号（伊東市竹の内）

1 事業概要

全体事業費：	C = 130百万円
計画期間：	令和4年度～令和6年度
計画概要：	歩行空間整備工 L = 0.45 km

2 目的・必要性

本事業は、一般国道135号の交通安全対策である。事業区間は、東小学校の通学路に指定されているが、交通量が多く、また、歩道が狭いことから歩行空間の確保が課題であるため、側溝改良等により歩行空間の整備を図るものである。

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	-
		安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定あり【東小学校】 交通死傷事故率 119.0件/億台キロ 自動車交通量 17,291台/日 歩行者交通量 279人/日	7A
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	-
		地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	-
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	-
重要性	既存計画への位置付け		-	-
緊急性	速やかな事業着手の必要性		令和3年度 通学路合同点検要対策箇所（緊急点検）	S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		概ね3年以内に事業完了	A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		用地補償が不要 地元住民からの要望あり	3A
計				1S11A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）